

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業	26年度事業・施策評価結果			責任者 建設部 事業推進課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト		
事務事業名	飛島ふ頭(西)ふ頭用地整備事業	継続	維持	維持	連絡先 052-654-7921 <small>計画担当、港管課、工事課、港湾工事事務所</small>
目的	対象(誰・何を) 意図(どういう状態にしたいか)	飛島ふ頭第2貯木場 増大する貨物を取り扱う国際ターミナル機能を有するふ頭用地の造成や基盤整備を行います。			事業期間 平成14~30年度
概要	整備場所:愛知県海部郡飛島村(飛島ふ頭) 内容・規模:多目的物流拠点として、増加する貨物の荷捌き施設及び保管施設の立地を図り、物流の効率化を推進します。ふ頭用地6.1ha(埋め立て、地盤改良、舗装工、排水工等)の基盤整備 総事業費:24億円 事業手法:起債事業			根拠法令等 公有水面埋立法 港湾整備促進法 名古屋港湾計画	
事業着手時点の評価	港湾計画に多目的岸壁が位置付けられている当該地区に、増加する貨物の荷捌き施設及び保管施設の立地を図るためのふ頭用地造成を行うことにより、6.1haの貸付用地を提供でき、物流の効率化を図ります。			実施義務 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
27年度の実施予定	貨物の荷捌き施設及び保管施設への需要動向を見極めながら事業を実施するため、現時点ではふ頭用地整備を行う予定はありません。			関連シート 西部地区(第2貯木場)都市機能等用地整備事業	

2 DO(実施)

27年度に実施した内容・結果	事業進捗はありませんでした。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(平成14年度~)	備考(費用の増減理由等) 西部地区(第2貯木場)都市機能等用地整備事業と連携して事業を実施しているため。
事業費	千円	8,400	39,551	0	643,151	
人件費	千円	697	1,233	714	2,644	
合計	千円	9,097	40,784	714	645,795	

3 CHECK(検証)

指標名	25年度	26年度	27年度	最終目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	26.8	26.8	100(累計)	事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	
	実績	25.2	26.8	26.8			
事業進捗状況(27年度)		順調、やや遅れ・遅れ					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	これまでの工程(埋め立て)は順調に進捗しております。事業費の7割程度を占める地盤改良、舗装工等については、ふ頭用地需要を見極めたのち、2か年で整備を進めていく計画となっています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 事業着手時に比べ必要性が低下していないか? 事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	港湾計画に多目的岸壁が位置付けられている当該地区は、増加する貨物の荷捌き施設及び保管施設の立地を図るため、利用者ニーズを見定めながら、ふ頭用地造成が必要であると考えられます。					
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	増加する貨物の荷捌き施設及び保管施設の立地を図るため、ふ頭用地を造成することは、上位施策である「国際・国内海上輸送機能の強化」に貢献すると考えております。					
効率性 最小のコストとなっているか?	○	ふ頭用地の需要動向を見極めながら、事業を実施しております。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
延伸	維持	維持	ふ頭用地需要の動向を見極めながら、必要な事業の推進を図る必要があるため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(30→31年度)
課題	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
多目的物流拠点としてのふ頭用地需要を見極めながら事業を実施する必要があります。			引き続き、ふ頭用地需要を見極めながら事業を進めていきます。